

地球環境局地球温暖化対策課市場メカニズム室

1. 事業の必要性、概要

- 事業者、国民などの幅広い主体による主体的な排出削減を進めることができるカーボン・オフセットの取組が活発化しており、平成 22 年 3 月末には、国内の取組事例は 780 件を超えている。
- カーボン・オフセットの推進には、信頼性、透明性の確保が重要であり、平成 20 年 2 月に策定した「わが国におけるカーボン・オフセットのあり方について（指針）」に基づき事業を実施している。

2. 事業計画（業務内容）

- カーボン・オフセットに関する各種ガイドラインや基準類の策定、カーボン・オフセットフォーラム（J-COF）を通じた情報収集・提供、先進的かつ波及効果の高い取組をモデル事業として実施した。
- 平成 23 年度は、過去の優良な取組事例・商品を集めた見本市の開催、カーボン・オフセットの取組をさらに進めた、企業等の温室効果ガス排出総量をオフセットする「カーボン・ニュートラル」を推進する。
- カーボン・オフセットに用いる信頼性の高い排出削減・吸収量（クレジット）を認証する「オフセット・クレジット（J-VER）制度」については、J-VER の認証プロセスの効率化を図りつつ、国際基準（ISO）に準拠した制度設計、対象プロジェクト種類の追加を行った。
- 平成 23 年度は、エネルギー起源の温室効果ガス排出削減を推進するため、新たに、制度利用者への支援（設備補助を含む※）、J-VER の市場取引を促進するための商談会の開催等を行う。また、市場拡大のため、国内排出量取引制度への活用や海外 VER 等との相互認証等を検討する。

※ 補助基本額：60 百万円、補助先：民間企業（2 件）、補助率：1/3

3. 施策の効果

- J-VER を活用した信頼性の高いカーボン・オフセットの取組を促進し、国内の中小企業や農林分野の温室効果ガス排出削減を通じた京都議定書及び中期目標の達成に貢献するとともに、新成長戦略の着実な実行により域活性化や雇用創出に寄与する。

カーボン・オフセット推進事業

<カーボン・オフセット>

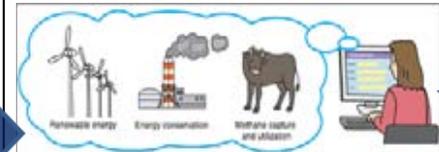
市民・企業等が、自身の温室効果ガスの排出量を認識し、削減努力を行った上で、どうしても削減できない部分を、他の場所の削減・吸収量(クレジット等)で埋め合わせる。



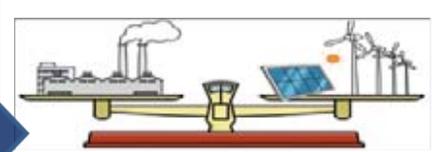
家庭やオフィス、移動(自動車・飛行機)での温室効果ガス排出量を把握する



省エネ活動や環境負荷の少ない交通手段の選択など、温室効果ガスの削減努力を行う



削減が困難な排出量を把握し、他の場所で実現したクレジットの購入または他の場所での排出削減活動を実施



対象となる活動の排出量と同量のクレジットで埋め合わせ(相殺)する

事業概要

適切なカーボン・オフセットの普及

- ・ カーボン・オフセットに関する相談支援、セミナーの開催、諸外国との情報交換
- ・ カーボン・オフセットの見本市の開催
- ・ 「カーボン・ニュートラル」の第三者認証基準の検討。

信頼性の高いクレジット(J-VER)の創出

- ・ オフセット・クレジット(J-VER)制度の運営(J-VER認証、新規プロジェクト種類の承認、J-VERの取引促進、今後の方針検討等)
- ・ J-VERプロジェクト実施者への支援(J-VER認証プロセス支援、施設整備補助)

事業の効果

カーボン・オフセットの普及を通じて温室効果ガス排出90年比25%削減という中期目標に貢献
J-VER制度を活用して、国内の山村地域への民間資金の還流を通じた地域活性化を実現